

第九号

風知草



《発行》新津西部コミュニティ推進協議会

《発行日》平成24年 9月10日

我がまち自慢の風景



(撮影者：K.W. 平成24年6月)

つれづれ

JRさつき野駅近くから東を見ると、五頭山や菱ヶ岳の山々、西を見ると弥彦山に角田山が連なる。その遠望は昔と変わらない。だが、農道に足を踏み入れると、畦に沿いニメートル幅に、稲を収穫した跡が無かったり、中には一枚の田圃全てが、「豆畑」になっていた処さえ見られる。

田圃に一株でも稲を多く植えて、収穫を目指した頃、農業に携わったことのある者にとっては、何とも悲しい風景がそこに見られる。

「国の減反政策」のなせる業の一つだろう。加えて、最近「TPP」が急浮上してきた。加盟国の中で「十年間に関税の撤廃をめざす」という「TPP」は、農業関係者には死活問題だろう。「耕作地の規模が二十倍」の外国は、生産効率が違う。関税が撤廃されると、価格が今の「四分の一」の「輸入米が入る」という。「休耕田続出」ところではあるまい。春は早苗が風に揺れ、秋は黄金の稲穂が頭を垂れる。そんな風景が「消えない事」を願っている。(J・K)



町内の子どもたちが集う場所として公園は、大切なふれあいの場です。また、子どもたちの笑い声や元気に動きまわる姿を見守る親同士の交流の場でもあります。今回は、公園を利用して子どもと親たちにインタビューをし、感想や要望などを聞いてみました。

シリーズ 西部地区公園紹介

美善第一・二公園

【インタビューの内容】

- ・遊びの内容
- ・利用回数
- ・誰と一緒に
- ・公園のいいところ
- ・望むところ

【インタビューのまとめ】

- ・ボール投げや自転車乗りの練習ができてよい
- ・遊具がないので、広く遊べてよい
- ・ターザンロープや砂場・鉄棒・シーソー等がほしい
- ・芝生があるとよい
- ・三小山のようなものがあるとよい
- ・鉄棒・シーソーなど幼児が遊べる遊具がほしい
- ・もっとたくさんの人に利用してもらいたい
- ・利用回数は、週に二〜三回くらい

ちょうど夏休みに入り、早朝のラジオ体操が第二公園で行なわれていました。たくさん親子の参加で、活気づいていました。これからも町内会の活動が、公園を中心に広がることを期待しています。



心も体も育てる

「どいつラグビースクール」です

事務局 山 田

園児から中学生まで約70名の男女が土曜日に活動しているラグビースクールです。

「ラグビー」??と聞くと危ないイメージが持たれますが私たちのラグビースクールでは体作り、そして何よりも仲間作りに重点をおいて活動をしています。

全ての子どもが持つ、可能性や個性を大事に考え、足の速い子もそうじゃない子も、大きい子もそうじゃない子も、一人一人がチームの力となり助け合い、泣いたり、笑ったり、日々成長しています。子どもたちと一緒にコーチ



や保護者が皆で楽しく楕円球に夢中になっています。そんな和気あいあいとした雰囲気が特徴の「どいつラグビースクール」です。あなたも仲間になりませんか??
一緒にやろうよ!!



み～んな～集まれ～!

西部地区では、いろいろなサークルや団体が活動しています。シリーズ5回目は、三谷2・3丁目公会堂です。

一緒に遊ぼう!

小林佑美子

山谷子育てグループは、0歳から3歳、または就学前の子どもたちとおうちの方が対象です。

子どもたちには友達と遊ぶ楽しさやルールを知るいい機会になるよう、おうちの方に



「大正琴」は楽しいよ

琴城流大正琴 琴美会

私達の「琴美会」は、山谷町二・三丁目公会堂で月に二回の稽古です。もう二十年が経ようとしています。皆高齢者になりましたがお稽古が待ち遠しくなりません。

森山先生は優しく、時には少し厳しい御指導で私達は心地良い緊張の内に練習をします。お茶タイムになれば話はずみとても楽しいです。

毎年七月に「新潟市音楽文化会館」で越佐支部大正琴演奏会があって私達も出演しま

は地域の方との交流や子育てについて様々な情報交換の場となるよう、毎週水曜日に山谷公会堂をお借りして活動しています。

普段は自由遊びが中心で三輪車に乗ったり、おもちゃや滑り台で遊びます。また、誕生日をみんなでお祝いしたり、七夕・クリスマス・節分・ひな祭り等の行事には手作り工作をして楽しんでいます。歯科衛生士からの歯磨き指導や保健師からのトイレトレーニングの話も聞くことができ、育児の悩みを解消する場にもなっています。

す。稽古の結果がうまく出ますようにと、平常心を保って楽しみながら演奏します。華やぎ、若々しい自分達になれるひと時です。



平成二十四年度の 西部コミ協総会を開催

事務局長 斎藤 靖

平成二十四年度の総会は、先ごろ六月三日の日曜日、午前十時より市民会館第二会議室にて役員を含む出席者四十名ほどで行われました。

当日も毎年行われる総会として、前年度の事業・決算等の報告と会計監査報告をはじめ、本年度の事業・予算審議や一部組織変更を含む会則改正も、様々なご意見を頂戴しながら審議・承認を戴くこと

ができました。この紙面をお借りし、ご協力戴いたことに深く感謝申し上げます。

まだまだ発展途中の「西部コミ協」であり、事務局の体制においても不安定なためご迷惑をお掛けする状況もあると思いますが、事業等がスムーズに進み着実に前進できるように、努力を続けてまいります。本年度も皆様からのより一層のご協力をお願い致します。



編集 後記

バトンタッチ No.8



日頃の出来事や思うこと等を紹介しながら、地域の皆様の“つながりの輪”をひろげていくコーナーです。

新たな絆を求めて

山谷町三丁目 杉野 功

昨年の東日本大震災で人々の「絆」が注目されたが、私が生まれ育った山村には、四季折々の行事があり、そこには活気と温かな絆があった。村は中越地震を契機に過疎化が一気に進んでしまったが、お年寄り達は、日中に自慢の煮物や漬物を持ち寄って茶飲み話に花を咲かせるのが日課で、何よりの楽しみ。顔を見せない婆ちゃんがいれば、帰りに立ち寄って「居るかい？」と声を掛けて無事を確かめる。村では、都会で

見られるような孤独死はまだ聞いたことがない。

私は山谷町内に越して来て十五年になるが、近くの神社の神楽保存会に入ったのも、終の棲家と決めたこの地に新たな絆を求めてのことだった。人口減少、深刻な財政赤字、年金制度の行き詰まりと、将来に対する不安は何かと募るが、これからは、地域社会の住民一人ひとりの「絆」を中心とした共助の「コミュニティ」の中にこそ安心があると思う。次号は美幸町一丁目 佐藤英子さんへバトンタッチします。

娘は陸上部で長距離ランナーだった。私もよく朝夕の練習に自転車付きあった。普通に走っている分にはいいのだが、向かい風・横風・坂道などはけっこうきつかった。妻に原付バイクを買ってくれと頼んだ事もあったが、認めてもらえなかった。

その娘が嫁いだ。披露宴終わりでのお母さんへの手紙。「練習に自転車付きあってくれた、お父さんとの何気ない話が楽しかった...」人前で涙

新津西部コミュニティ推進協議会の活動は新潟市からの補助金を受けています。

求む 投稿原稿!!
求む 編集担当者!!

連絡先・事務局(山谷町三丁目三八一-一〇〇 蓮沼美直)
☎〇二五〇一三三一四一八二